

2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月13日

上場会社名 オイシックス・ラ・大地株式会社 上場取引所 東
コード番号 3182 URL <https://www.oisixradaichi.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高島 宏平
問合せ先責任者 (役職名) 管理本部本部長 (氏名) 熊野 滋 (TEL) 03-6867-1149 (代表)
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		EBITDA(※1)		経常利益		親会社株主に 帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	89,656	2.5	4,293	30.4	6,052	22.0	4,777	55.4	3,015	55.2
2023年3月期第3四半期	87,475	0.1	3,293	△33.9	4,960	△22.3	3,073	△39.1	1,942	△41.0

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 3,581百万円(29.1%) 2023年3月期第3四半期 2,774百万円(△19.7%)

(※1) EBITDAは、営業利益+減価償却費+のれん償却額としています。

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	82.47	—
2023年3月期第3四半期	53.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	73,966	29,732	38.0
2023年3月期	64,502	26,140	38.1

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 28,070百万円 2023年3月期 24,597百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		EBITDA		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	147,000	27.6	4,200	25.5	7,200	28.7	3,500	93.6	95.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 —社 (社名) — 、除外 —社 (社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年3月期3Q	38,028,092株	2023年3月期	38,028,092株
2024年3月期3Q	1,470,042株	2023年3月期	1,469,994株
2024年3月期3Q	36,558,065株	2023年3月期3Q	36,555,203株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、経済活動の正常化が進むとともに、雇用・所得環境の改善などもあり、個人消費の持ち直しの動きが見られました。しかしながら、エネルギーコストや原材料価格の高騰に伴う物価上昇や、世界規模での金融引き締めや地政学リスク等の影響による景気停滞懸念は依然として残っており、先行きは不透明な状況が続いております。

当社主力事業の食品宅配業界につきましては、新型コロナウイルス感染症をきっかけとしたライフスタイルの変化による調理時間短縮ニーズ等は定着してきている一方、経済活動の正常化のなかで食品宅配に対する消費者の需要の多様化も進んでおります。

このような環境の中、当社グループにおいては、食を支えるインフラ企業として、安定的な商品供給の確保に取り組むとともに、家庭での食の在り方が大きく変化する中でお客さまの潜在的ニーズをいち早く捉え、満足していただける商品・サービスを提案してまいります。また、経営戦略の柱である「国内宅配事業の成長・収益力強化」に向け、カスタマーエクスペリエンスの進化およびローコストオペレーションの取組みを実行しております。また、国内宅配事業で培ったノウハウやシダックス株式会社との協業の促進により、保育園などの施設へ食材提供を行う「国内B2Bサブスク事業」などへの事業ポートフォリオの拡張、「サステナブルリテール戦略」に基づいたフードロスの削減や温室効果ガス削減への取組みの強化を推進しております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は89,656百万円(前年同期比2.5%増)、営業利益は4,293百万円(前年同期比30.4%増)、経常利益は4,777百万円(前年同期比55.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,015百万円(前年同期比55.2%増)となりました。

① 宅配事業(O i s i x)

インターネットを通じて主に食品・食材を直販で宅配事業を行うO i s i xは、共働きの子育て世代を主要ターゲットとし、プレミアムな時短を実現する商品、サービスを提供しております。

売上高については、ARPU(会員当たり月平均売上高)は新型コロナウイルス感染症の影響による上昇がみられた前年からは低下した一方で、会員数が前連結会計年度(2023年3月期)に実施した大型プロモーションによる効果もあり増加した結果、前年同期と比べ増加しております。セグメント利益についても、2022年1月に発生した物流センター移転時トラブルからのリカバリーコストの解消や、収益力改善施策が奏功していることにより、前年同期と比べ増加しております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

売上高	47,736百万円(前年同期比 6.2%増)
セグメント利益	6,892百万円(前年同期比 7.9%増)

② 宅配事業(大地を守る会)

カタログやインターネットを通じて主に食品・食材を直販で宅配事業を行う大地を守る会は、シニアの二人暮らし世帯を主要ターゲットとし、“ちゃんとした食生活”のコンセプトの元、ターゲットニーズに沿った新サービスの開発、磨き上げに注力しております。

売上高については、ARPUは新型コロナウイルス感染症の影響による上昇がみられた前年からは低下したことに加え、会員数が減少した結果、前年同期と比べ減少しております。セグメント利益についても、売上高減少に伴い前年同期と比べ減少しております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

売上高	8,746百万円(前年同期比 7.6%減)
セグメント利益	1,860百万円(前年同期比 3.3%減)

③ 宅配事業(らでいっしゅぼーや)

カタログやインターネットを通じて主に食品・食材を直販で宅配事業を行うらでいっしゅぼーやは、料理を通

じて社会貢献をしたい世帯を主要ターゲットとし、「ふぞろいRadish」などの商品に加え、新価値提供のためのサービス開発を進めております。

売上高については、会員数が前年同期と比べて増加したものの、ARPUは新型コロナウイルス感染症の影響による上昇がみられた前年からは低下したため、前年同期と比べ減少しております。セグメント利益については、収益力改善施策の効果が見られたものの、売上高減少の影響もあり、前年同期と比べ減少しております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

売上高	12,671百万円(前年同期比 1.7%減)
セグメント利益	1,912百万円(前年同期比 0.8%減)

④ 宅配事業(Purple Carrot)

米国で、ヴィーガンに特化したミールキット等の食品宅配事業を展開するPurple Carrotは、事業構造の強化を優先的に取り組んでいます。

売上高については、ARPUは増加したものの、会員数が減少したことにより、前年同期と比べ減少しております。また、セグメント損失については収益力改善施策の進捗により、前年同期と比べ損失額が減少いたしました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

売上高	6,888百万円(前年同期比 8.2%減)
セグメント損失	283百万円(前年同四半期連結累計期間は494百万円の損失)

⑤ その他事業

当セグメントは、ソリューション事業、保育園卸事業、海外事業(Purple Carrotを除く)等からなるその他事業であります。

ISETAN DOORをはじめとする他社EC支援などのソリューション事業の会員数が増加したことや、保育園への業務用ミールキットを含む食品卸を行う保育園卸事業の取引園数が増加したことにより、全体では売上高・セグメント利益ともに増加いたしました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

売上高	14,898百万円(前年同期比 9.3%増)
セグメント利益	1,664百万円(前年同期比 35.2%増)

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して9,464百万円増加し、73,966百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比較して7,950百万円増加し、38,631百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加5,268百万円、売上債権の増加3,589百万円、商品及び製品の増加265百万円、未収入金の減少1,329百万円、その他流動資産の増加202百万円によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して1,514百万円増加し、35,335百万円となりました。これは、有形固定資産の増加362百万円、無形固定資産の増加213百万円、投資その他の資産の増加938百万円によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比較して5,872百万円増加し、44,234百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末と比較して6,417百万円増加し、32,649百万円となりました。これは主に、買掛金の増加1,624百万円、未払金の減少261百万円、短期借入金の増加4,974百万円、その他流動負債の増加74百万円によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して545百万円減少し、11,584百万円となりました。これは主に、リース債

務の減少528百万円によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比較して3,592百万円増加し、29,732百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益3,015百万円、為替換算調整勘定の増加403百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年1月から志太ホールディングス株式会社及びシダックス株式会社が当社連結子会社となり、両社の2024年3月期第4四半期業績(2024年1月1日～2024年3月31日)及び連結子会社化に伴う一連の手續きに関連した損益等について当社の連結業績に取り込むことになりましたので、その予想数字を反映させております。

また、2023年5月11日に公表した2024年3月期通期連結業績予想では、Oisixブランドを中心に国内宅配事業の会員数の増加による売上高の伸長を想定しておりましたが、アフターコロナ下における消費者ニーズの多様化の進展の影響などもあり、新規会員の獲得は進捗しつつも、会員定着率が低減したことに加え、第3四半期に実施した送料改定の影響などにより、会員数が想定数を下回る見込みとなりました。また、第4四半期に厚木冷凍物流センターが新たに稼働するのに合わせて、期初時点では織り込んでいなかった物流業務の移転を円滑に行うための冷凍商品販売の絞り込みなどの影響を反映させております。

利益については、シダックス社の連結子会社化に伴う一時的な費用を取り込むなど、利益額としては期初予想を下回る見通しであるものの、各事業の収益力強化の取組は着実に進捗しており、収益性は向上しております。

なお、業績予想は当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,775	20,043
売掛金	9,626	13,216
商品及び製品	1,802	2,067
仕掛品	77	126
原材料及び貯蔵品	599	574
未収入金	3,147	1,818
その他	886	1,088
貸倒引当金	△234	△303
流動資産合計	30,680	38,631
固定資産		
有形固定資産		
リース資産（純額）	11,641	11,111
その他（純額）	4,758	5,650
有形固定資産合計	16,399	16,761
無形固定資産		
のれん	1,190	1,118
その他	2,419	2,705
無形固定資産合計	3,609	3,823
投資その他の資産		
投資有価証券	11,450	12,139
その他	2,361	2,610
投資その他の資産合計	13,812	14,750
固定資産合計	33,821	35,335
資産合計	64,502	73,966
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,309	7,934
短期借入金	10,060	15,035
1年内返済予定の長期借入金	27	21
リース債務	705	731
未払金	5,914	5,652
未払法人税等	831	896
契約負債	397	312
ポイント引当金	80	86
その他	1,906	1,980
流動負債合計	26,231	32,649
固定負債		
長期借入金	74	59
リース債務	11,293	10,764
役員退職慰労引当金	9	10
資産除去債務	554	557
繰延税金負債	21	18
その他	176	173
固定負債合計	12,130	11,584
負債合計	38,361	44,234

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,995	3,995
資本剰余金	8,016	8,016
利益剰余金	16,255	19,267
自己株式	△4,503	△4,504
株主資本合計	23,764	26,775
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	155	214
為替換算調整勘定	677	1,080
その他の包括利益累計額合計	832	1,294
非支配株主持分	1,542	1,661
純資産合計	26,140	29,732
負債純資産合計	64,502	73,966

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	87,475	89,656
売上原価	45,471	45,588
売上総利益	42,003	44,068
販売費及び一般管理費	38,710	39,775
営業利益	3,293	4,293
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	4	4
受取補償金	12	15
持分法による投資利益	—	165
投資事業組合運用益	40	386
その他	42	29
営業外収益合計	100	602
営業外費用		
支払利息	91	101
為替差損	5	11
持分法による投資損失	212	—
その他	10	5
営業外費用合計	319	117
経常利益	3,073	4,777
特別利益		
投資有価証券売却益	—	6
特別利益合計	—	6
特別損失		
投資有価証券評価損	—	7
特別損失合計	—	7
税金等調整前四半期純利益	3,073	4,776
法人税、住民税及び事業税	1,241	1,465
法人税等調整額	△117	△12
法人税等合計	1,123	1,452
四半期純利益	1,949	3,324
非支配株主に帰属する四半期純利益	7	309
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,942	3,015

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	1,949	3,324
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	31	△165
為替換算調整勘定	785	402
持分法適用会社に対する持分相当額	7	20
その他の包括利益合計	824	257
四半期包括利益	2,774	3,581
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,767	3,477
非支配株主に係る四半期包括利益	7	103

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)3
	宅配事業 (Oisix)	宅配事業 (大地を 守る会)	宅配事業 (らでいっし ゅぼーや)	宅配事業 (Purple Carrot)	計			
売上高								
日本	44,946	9,464	12,892	—	67,303	12,030	—	79,334
米国	—	—	—	7,475	7,475	—	—	7,475
その他	—	—	—	—	—	665	—	665
顧客との契約から生じる収益	44,946	9,464	12,892	7,475	74,779	12,696	—	87,475
外部顧客への売上高	44,946	9,464	12,892	7,475	74,779	12,696	—	87,475
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	30	30	934	△964	—
計	44,946	9,464	12,892	7,505	74,809	13,630	△964	87,475
セグメント利益又は損失 (△)	6,390	1,924	1,927	△494	9,747	1,230	△7,685	3,293

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソリューション事業・店舗事業・海外事業(Purple Carrotを除く)・卸事業等を含んでおります。

2. 「調整額」のセグメント利益における主な内容は、固定人件費及び各事業セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)3
	宅配事業 (Oisix)	宅配事業 (大地を 守る会)	宅配事業 (らでいっし ゅぼーや)	宅配事業 (Purple Carrot)	計			
売上高								
日本	47,736	8,746	12,671	—	69,154	13,192	—	82,346
米国	—	—	—	6,860	6,860	—	—	6,860
その他	—	—	—	—	—	449	—	449
顧客との契約から生じる収益	47,736	8,746	12,671	6,860	76,014	13,642	—	89,656
外部顧客への売上高	47,736	8,746	12,671	6,860	76,014	13,642	—	89,656
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	27	27	1,256	△1,284	—
計	47,736	8,746	12,671	6,888	76,042	14,898	△1,284	89,656
セグメント利益又は損失 (△)	6,892	1,860	1,912	△283	10,382	1,664	△7,753	4,293

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソリューション事業・保育園卸事業・海外事業（Purple Carrotを除く）を含んでおります。
2. 「調整額」のセグメント利益における主な内容は、固定人件費及び各事業セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用であります。
3. セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。